

# よりしま魅力化推進協と地域学校協働本部

## 文科大臣表彰を受賞

浅口市寄島町地区の住民らでつくる「よりしま魅力化推進協議会」と「よりしま地域学校協働本部」が、学校運営の改善・強化や学校を核とした地域づくりに貢献しているとして、2022年度の文部科学大臣表彰を受けた。(松山慎二)



記念写真に納まる笠原会長(中央)ら

### 住民と小中連携 環境整備や学習支援

両団体は地域住民のほ ことも園が加入。子どもか、寄島小中学校のPT もたちが地域の魅力ををる。A、学校関係者で19年に 学ぶ教育課程「よりしま発足し、20年に保育園、学」を同年に設け、地域



の特産・カキについての学習や海ごみの回収、アツケシソウ自生地(市天然記念物)の環境整備に取り組むなど学校と地域が一体となった活動を展開している。

昨年5月には、寄島小の創立30周年を記念し、校内に芝生広場「みんなのもやいひろば」(12坪)を整備。1月28日には学習支援の一環として漢字検定を同小で行い、地元の小中学生約40人が受験した。

3日に東京で表彰式があり、両団体の会長を務める笠原宏之さん(66)が8日に市役所を訪問。栗山康彦市長が「園児から中学生まで幅広い年齢の子どもたちが連携して取り組んでいることが素晴らしい」などと激励すると、笠原会長は「子どもたちが主体性を持ち、大人とも強い結びつきで活動できている。後継者育成を含め息の長いものにしていきたい」と話していた。

漢字検定を受ける子どもたち 1月28日、寄島小